

2020年2月1日

(エン) ENボード株式会社

ENボード株式会社は、パーティクルボード（Particleboards：PB）の製造会社です。フロアや内装部材などの総合建材メーカーでパーティクルボード（PB）の老舗でもある永大産業株式会社（東証一部上場企業）とパーティクルボードの国内最大メーカーである日本ノボパン工業株式会社が共同出資した合弁会社であり、国内最大・最新のパーティクルボードプラントを静岡県駿東郡小山町に建設致します。

永大産業(株)



日本ノボパン工業(株)

(E)

(N)

パーティクルボード業界 最強のタッグ！

そのプラント規模は、国内最大はもちろん、世界的にもトップクラスのパーティクルボード（PB）プラントとなり、世界からも注目されています。



工場建設予定地から望む
「富士山」

小山町ふじのくにの
フロンティアを拓く取組
新産業集積エリア参入第1号



パーティクルボード（PB）
住宅の構造材や内装材に広く使用されている木質ボードです
（写真提供：永大産業株式会社）

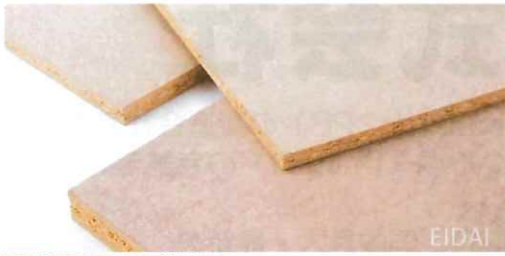
【 会社概要 】

- 本社：大阪府大阪市住之江区平林南2丁目10番60号（永大産業(株)本社内）
TEL 06-6684-3027
- 工場：静岡県駿東郡小山町湯船字下原1278-11（工場建設中）
※ 工場建設後、本社は上記住所に移る計画です。
- 設立：2019年 5月 22日
- 生産量：年間18万t（月間15,000(t/月)）
- 操業：2021年度より本格操業を開始する計画
- 従業員：130名程度を計画

【 ENボードが使用する木材チップ量について 】

ENボードでは、木材チップを年間約24万t（トン）（月間約2万t）使用します。これを原木換算（山から切り出される丸太）した場合、年間約50万m³以上となります。これは、静岡県全体の出材量（山から切り出される丸太）とほぼ同じくらいの木材量であり、ENボードのプラント規模の大きさが表されます。

パーティクルボード（PB）とは



パーティクルボード（PB）の
主原料であるリサイクルチップ
（写真提供：永大産業株式会社）

- パーティクルボード（PB）は、建築解体材から発生する木質廃材を主原料とした木質ボードです。
- 製品は、日本産業規格JIS（JIS A 5908）に規格された工業製品です。
- 主に、住宅の構造材として耐力壁や床・屋根下地材に広く使用されています。
また、表裏に化粧材をラミネートした化粧パーティクルボードは、住宅の内装部材に広く使用されており、日々の暮らしに溶け込んだ身近な木質材料です。

【 製造工程 】

- 主原料であるリサイクルチップの中から、金属類などの異物（釘や廃配線など）を除去
- チップを切削し、乾燥させた後に、大小にふるい分け、それぞれのチップに接着剤を塗布
- 細かいチップがボード表裏に、大きなチップがボードの芯層になるように均一に分散させ、連続プレスで熱圧（約3m×約6m）
- 冷却後、サンダーで表裏を研削・研磨し、お客様のお求めのサイズに裁断し出荷



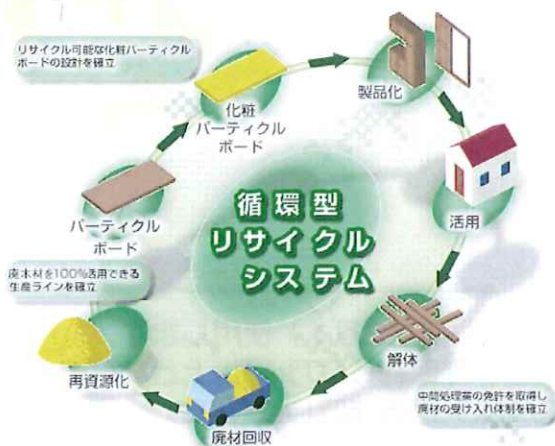
パーティクルボード（PB）が使用された住宅内装風景
（写真提供：永大産業株式会社）

循環型社会の構築に大きく寄与する パーティクルボード（PB）

- ◆地球環境
CO₂の増大による地球温暖化防止のため、パーティクルボード（PB）は、木質廃材のマテリアルリサイクルを行っています。
- ◆社会環境
資源の枯渇や大気汚染、さらには産業廃棄物の不法投棄など、社会環境の破壊が進んでいます。パーティクルボード（PB）は、木質廃材を適正に原料化し、再び製品へと再生させます。
- ◆生活環境
シックハウス症候群など、日常生活の中に潜む危険に対し、パーティクルボード（PB）は、ホルムアルデヒドやトルエン・キシレン等のVOCを限りなく削減しています。

Recycle System

木材資源のさらなる有効活用のために
循環型リサイクルシステムを確立しています



（資料提供：永大産業株式会社）